

経営比較分析表（令和2年度決算）

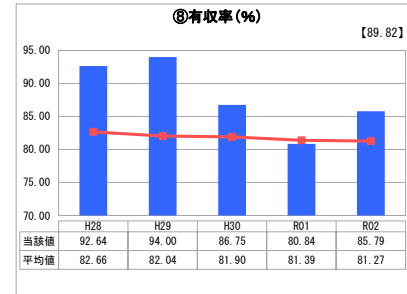
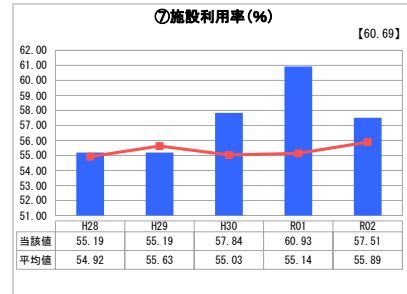
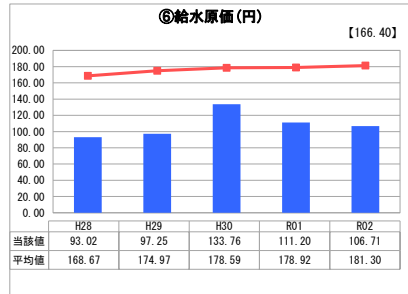
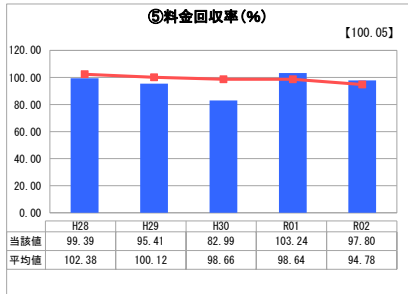
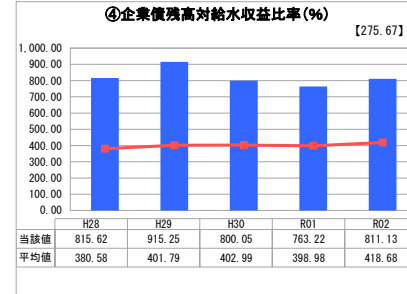
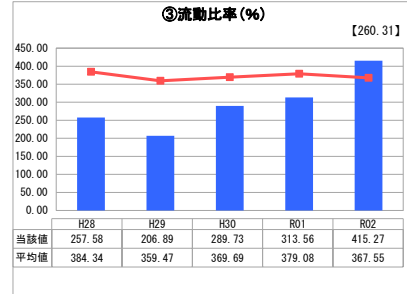
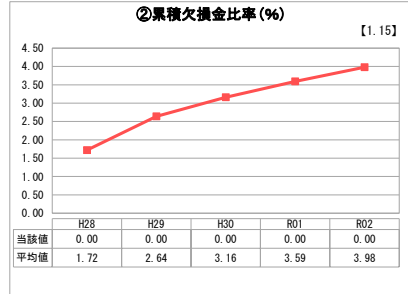
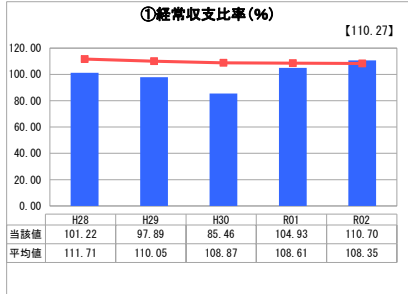
岐阜県 垂井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	55.86	85.40	2,170	

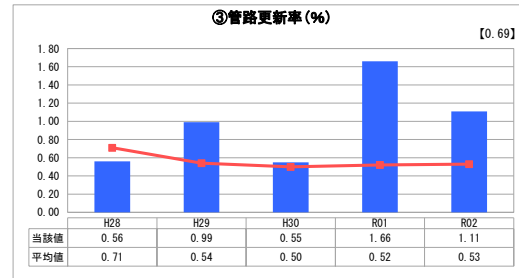
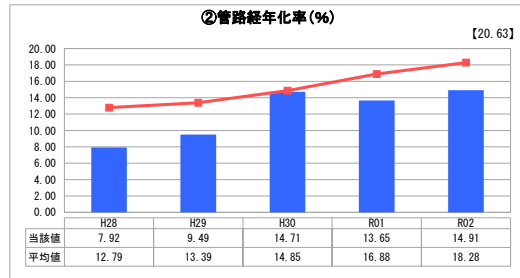
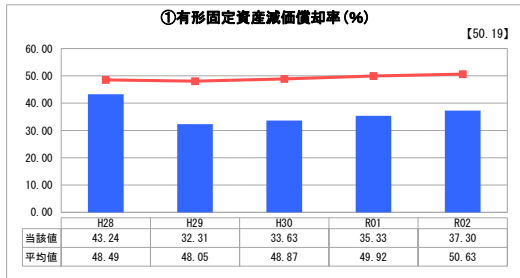
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
26,903	57.09	471.24
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
22,919	21.73	1,054.72

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・経営の健全性について
 経常収支比率は100%を上回っていますが、料金回収率は100%を下回っています。これは、当年度の収支は黒字ですが、給水に係る費用が給水収益以外で賄われていることとなります。要因としては、新型コロナウイルス感染症対策として水道料金のうち基本料金を減免したことにより、給水収益が減少したためです。
 また、給水収益が減少したことに伴い、企業債務高対給水収益比率が前年度に対して増加しました。
 給水原価につきましては、前年度と比較して数値が減少しました。これは、人事異動等による費用の減少が要因です。しかし、今後は老朽管の増加に伴い、管路の更新・修繕に係る費用が増加していくと考えられます。

・経営の効率性について
 施設利用率は前年度と比較して減少しました。これは配水量の減少が要因です。しかし、定期的な漏水調査の実施により、有収率は前年度より増加し、類似団体と比較しても高い数値となりました。
 今後も、漏水調査等を積極的に実施し、有収率の向上に努めます。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、管路経年率は類似団体と比較して良好な状態ですが、数値が増加傾向にあります。これは、法定耐用年数を超えた管路が増加しているためです。
 今後、計画的かつ効率的な管路の更新に取り組む必要があります。

全体総括

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として水道料金のうち基本料金を減免したため、給水収益が減少しました。しかし、減免相当分を一般会計から繰入れたことにより、料金回収率は100%を下回りましたが、経常収支比率は100%を上回ることであります。
 しかし、今後は人口減少・節水意識の向上により有収水量は減少していき、これに伴い収入も減少していきます。
 また、老朽化施設・管路等の増加により、更新・修繕費用は増加すると考えられます。
 適切な財源を確保するため、今後も費用削減に取り組み、健全経営に努めていきます。